

# 平成 25 年度中津川市水道事業会計決算の概要と経営分析

## ◇経営状況

水道事業は、地方自治体が経営する企業として、地方公営企業法に基づき、独立採算制を原則に運営されており、受益者負担が原則となっています。そのため水道事業を経営していく経費は、利用者の皆様からいただいた水道料金でまかなわれています。

中津川市水道事業の今後の課題は、市内全体の人口減少に伴う給水人口の減少、節水型機器類の普及、節水意識の浸透などにより、有収水量の将来見通しは増加が見込めず、料金収入の更なる増加は期待できない状況となっています。

## ◇決算の概要

平成 25 年度決算では、有収水量の増加及び給水件数の増により水道事業収益で 1,263,843 千円（前年度比 0.9% 増）、水道事業費用の決算額は、1,165,063 千円（前年度比 0.3% 増）となり、純利益は 98,780 千円と前年度に比べ、7,113 千円の増加となりました。

「安全でおいしい水を安定的に供給する」ことや、「安価な水を供給する」ことを目標に、今後、県営水道への全量切り替え、老朽化した管路の耐震管への更新等を計画的に進めてまいります。

## ●業務実績

項目	単位	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
A 行政区域内人口	(人)	81,820	82,387	△567
B 計画給水人口	(人)	66,370	66,370	0
C 給水区域内人口 (注)1	(人)	56,712	56,860	△148
D 給水人口	(人)	56,478	56,671	△193
E 普及率 (D/C)	(%)	99.6	99.7	△0.1
F 給水件数	(件)	20,952	20,853	99
年間配水量	(m <sup>3</sup> )	7,682,504	7,738,769	△56,265
県水受水量	(m <sup>3</sup> )	5,743,760	5,695,668	48,092
自己水量	(m <sup>3</sup> )	1,938,744	2,043,101	△104,357
年間有収水量 (注)2	(m <sup>3</sup> )	6,515,389	6,485,945	29,444
1日平均	(m <sup>3</sup> )	17,850	17,770	80
1人1日平均	(ℓ)	316	314	2
有収率 (注)3	(%)	84.8	83.8	1.0

(注)1 簡易水道区域は含んでいません。

(注)2 年間配水量のうち、料金収入として有益となる水量を表します。

(注)3 年間有収水量/年間配水量

## ●収益的収支（公営企業の経営活動に伴い発生する全ての収入・支出）

(単位：千円、税込み)

項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
収益的収入	1,326,923	1,315,751	11,172
収益的支出	1,216,090	1,211,951	4,139
収支差引	110,833	103,800	7,033

## ●資本的支出（公営企業の活動を行うために必要な施設の整備や拡充などの建設改良費に要する収入・支出）

(単位：千円、税込み)

項目	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
資本的収入	106,658	106,049	609
資本的支出	426,093	445,624	△19,531
収支差引	△319,435	△339,575	20,140

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんした。

## ●比較損益計算書

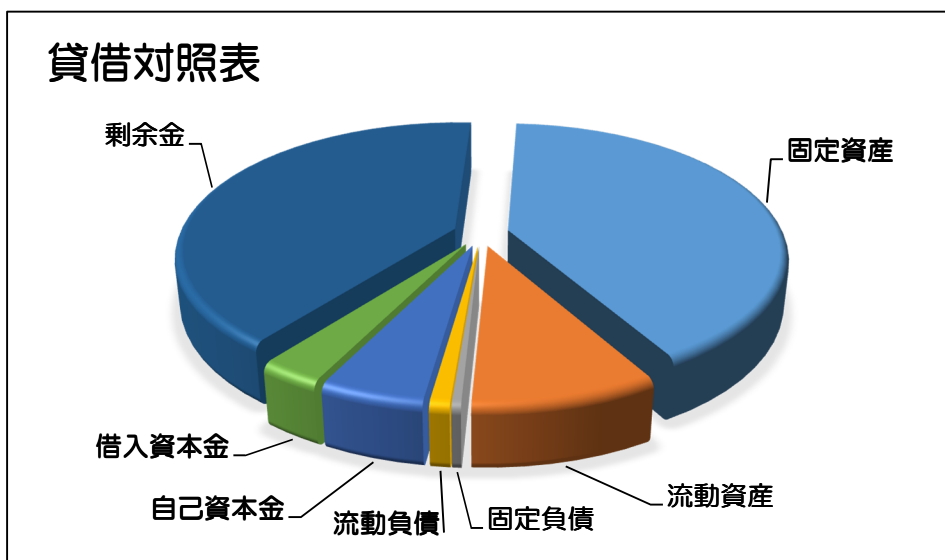
(単位：千円、税抜き)

区 分	平成 25 年度 決算額 (A)	平成 24 年度 決算額 (B)	比較増減	増 減 率
			(A)-(B)=(C)	(C)/(B) %
1 総収益	1,263,843	1,253,190	10,653	0.9
(1) 営業収益	1,262,788	1,252,353	10,435	0.8
(2) 営業外収益	1,055	837	218	26.0
2 総費用	1,165,063	1,161,522	3,541	0.3
(1) 営業費用	1,146,734	1,139,059	7,675	0.7
(2) 営業外費用	18,329	22,463	△4,134	△18.4
損益	98,780	91,668	7,112	7.8

## ●比較貸借対照表

(単位：千円、税抜き)

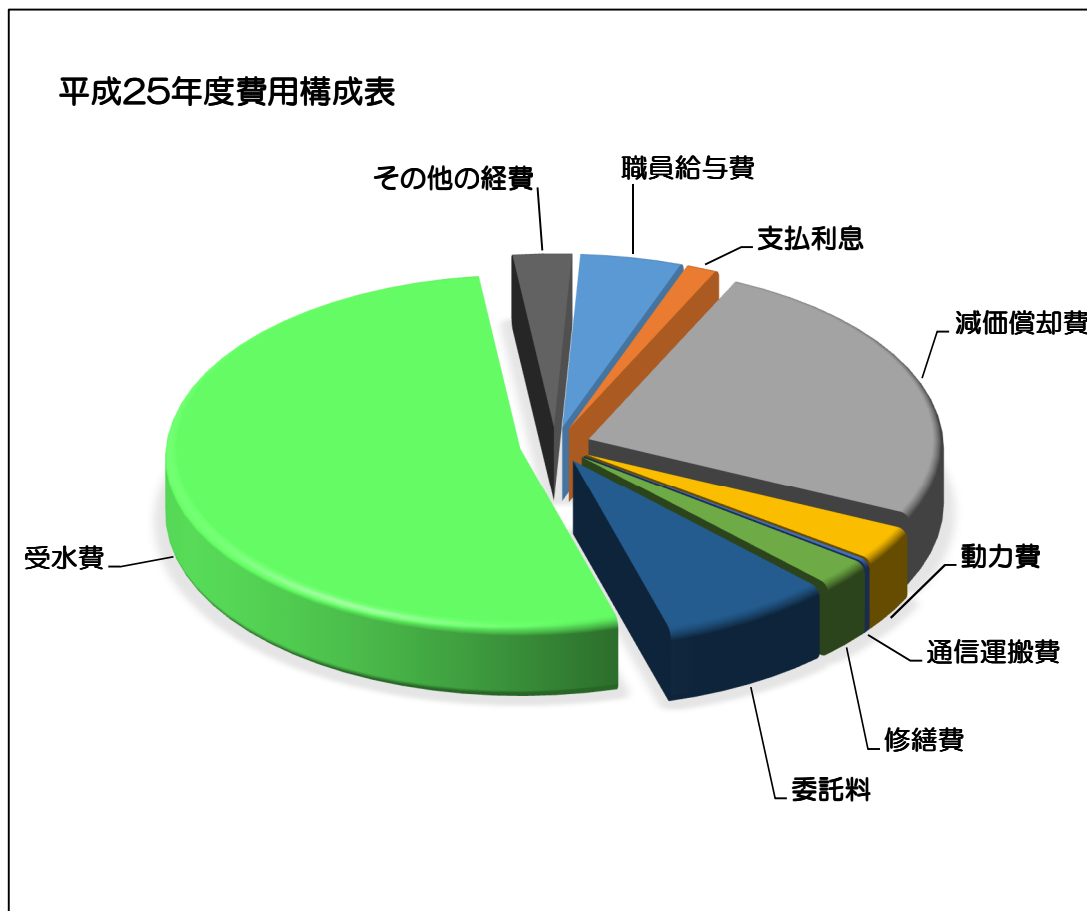
資産の部				負債及び資本の部			
科 目	平成 25 年度 決算額	平成 24 年度 決算額	比較増減	科 目	平成 25 年度 決算額	平成 24 年度 決算額	比較増減
固定資産	7,864,635	7,797,457	67,178	固定負債	88,638	88,018	620
流動資産	1,763,274	1,667,984	95,290	流動負債	190,622	195,689	△5,067
				負債合計	279,260	283,707	△4,447
				資 本 金			
				自己資本金	990,293	990,293	0
				借入資本金	600,287	656,936	△56,649
				剰 余 金			
				資本剰余金	7,825,980	7,701,196	124,784
				未処理欠損金	△67,911	△166,691	△98,780
				資本合計	9,348,649	9,181,734	166,915
合 計	9,627,909	9,465,411	162,468	合 計	9,627,909	9,465,441	162,468



●費用構成

(単位：千円、税抜き)

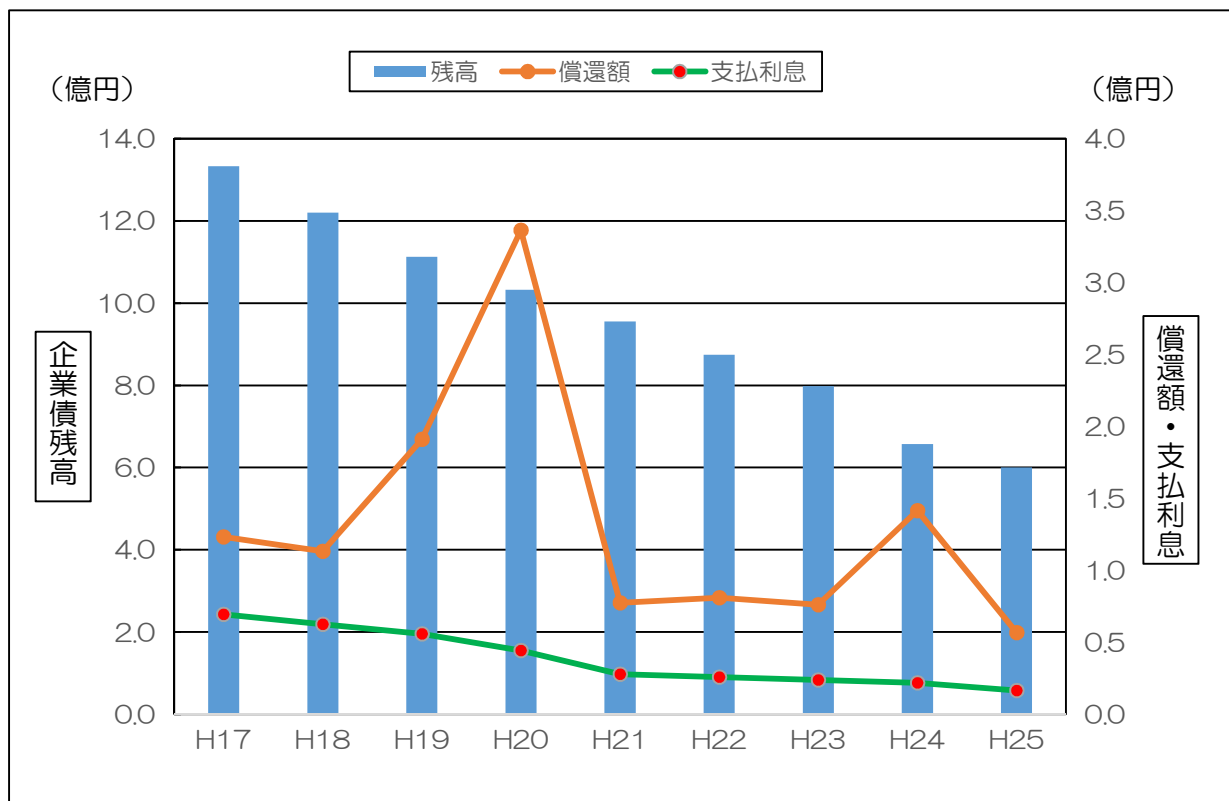
	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
職員給与費	55,078	63,044	△7,966
支払利息	16,340	21,728	△5,388
減価償却費	291,578	284,748	6,830
動力費	36,473	35,109	1,364
通信運搬費	2,479	2,517	△38
修繕費	28,568	25,340	3,228
委託料	90,521	81,534	8,987
受水費	612,016	613,250	△1,234
その他の経費	32,010	34,252	△2,242
合計	1,165,063	1,161,522	3,541



●企業債の状況（借入先別年度末残高）

（単位：千円、税抜き）

借入先区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
財政融資資金	513,724	479,719	444,260	338,649	312,481
地方公共団体金融機構	171,505	163,785	155,755	147,491	138,983
市中銀行等資金	270,085	230,921	198,352	170,796	148,823
合 計	955,314	874,425	798,367	656,936	600,287



※平成 19 年度、平成 20 年度及び平成 24 年度の償還額には、補償金免除繰上償還が含まれています。

## ◇経営分析

### ●財務分析表

分析項目	単位	平成25年度	全国平均	解 説	
自己資本構成比率	%	90.86	71.40	総資本に対する自己資本の占める割合を示す。 比率が高いほど経営が安定している。	
流動比率	%	925.00	627.22	企業の支払能力を示す。 比率は200%以上が望ましい。	
営業収支比率	%	110.1	111.56	業務活動の能率を示す。 比率は100%以上が望ましい。	
固定資産構成比率	%	81.7	88.18	事業の財産構成の適正度を示す。 比率は小さいほど良い。	
総収益対総費用率	%	108.5	108.01	収益と費用の相対的な関連を示す。 比率は100%以上が望ましい。	
固定比率	%	89.9	123.50	資本の固定状態から資金的弾力性を示す。 比率は100%以上が望ましい。	
負債比率	%	28.20	—	自己資本と負債の限度を示す。 比率は100%以下が望ましい。	
料金収入に占める比率	企業債償還元金	%	4.49	18.08	料金収入の中で企業債償還額の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。
	企業債利息	%	1.30	6.20	料金収入の中で企業債利息の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。
	企業債元利償還金	%	5.79	—	料金収入の中で元利償還額の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。
	職員給与費	%	4.37	9.25	料金収入の中で職員給与費の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。

### ●経営分析表

分析項目	単位	平成25年度	全国平均	解 説
負 荷 率	%	86.75	85.68	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。 比率は大きいほど良い。
施設利用率	%	65.16	61.52	施設の利用が有効かつ適切に行われているかを示す。 比率は大きいほど良い。
最大稼働率	%	75.11	71.81	施設の利用及び投資の適正度を示す。
配水管使用効率	m/m	12.37	14.86	配水管1m当たりの有効利用度を示す。 数値は大きいほど良い。
固定資産使用効率	m <sup>3</sup> /万円	9.81	7.19	固定資産1万円当たりの配水量の使用効率を示す。 数値は大きいほど良い。
供給単価	円/m <sup>3</sup>	193.64	190.98	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの料金収入を示す。
給水原価	円/m <sup>3</sup>	178.82	188.53	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりにかかる費用を示す。
職員一人当たり給水人口	人	5,648	4,142	職員数が適正であるかどうかを示す。 数値は大きいほど良い。
職員一人当たり営業収益	千円	126,161	90,142	職員一人当たりの売上高を示す。 数値は大きいほど良い。

※全国平均は、平成24年度における給水人口が5万人以上10万人未満で、受水を主たる水源とし、有収水量密度が全国平均未満の都市の平均値です。(水道事業経営指標平成24年度より抜粋)

◇参 考

●水道料金比較表（家庭用口径 20mm・1ヶ月当たり 20 m<sup>3</sup>使用）

岐阜県東部広域水道用水供給事業から浄水を受水している全事業者（平成 25 年 4 月 1 日現在）

事業者名	給水人口	水道料金（円） （税込み）	比 較	料金体系
中 津 川 市	56,671	3,780	—	口径別
多 治 見 市	115,139	3,402	378 円安	//
瑞 浪 市	38,081	5,407	1,627 円高	//
恵 那 市	31,397	3,555	225 円安	//
土 岐 市	61,190	4,777	997 円高	//
美 濃 加 茂 市	54,447	3,675	105 円安	//
可 児 市	100,215	4,074	294 円高	//
坂 祝 町	8,385	4,336	556 円高	//
富 加 町	5,669	4,693	913 円高	//
川 辺 町	10,569	3,837	57 円高	用途別
御 嵩 町	19,027	4,536	756 円高	口径別

※（社）日本水道協会「水道料金表」（平成 25 年 10 月 1 日発行）から算出